

**東日本大震災から早くも2年**という月日が流れたものの、復興への道のりはまだまだ半ばである。復興には、震災以前から存在していた、過疎化や地域産業の停滞、地域文化の衰退などの様々な問題を根本的に見つめ直す必要がある。そのためには**地域社会と外側が繋がり**をもち、その繋がりから新たなものを生み出し、興す試みが必要だと考えた。

本企画の目的は、震災の発生直後を振り返るだけでなく、現在の復興状況や被災地の方々がもの作りをしている現場を写真という視覚的媒体、また物販で販売される被災地の手作り製品という物理的媒体を通して認知してもらい来廊者に**震災を再認識**、**被災地の未来を考えてもらう契機**をつくることにある。

メディアではあまり取り上げられていない東北で生まれた新たなもの作りの現場の様子を震災直後と比較してもらい被災地のことをよく知らない人、よく知っている人、どちらでもない人にも、**先にある未来を共に想像し、本物にするキッカケ**を作りたい。

#### Access

大阪市中央区北浜1-5-8

(株式会社 宣成社1F2F)

京阪「北浜」駅30番出口徒歩1分



地下鉄堺筋線「北浜」駅徒歩3分



大阪証券取引所ビル裏

#### TEL

06-6222-3560



#### 写真提供

飯館村 長谷川健一氏

岩手県宮古市 スズクナハジメ氏

東北マニュファクチュール・ストーリー 多田知弥氏

\*この写真展開催にあたって、以下の方々をはじめ、多くの皆様に力添えいただいております。

(有) CR-ASSIST 代表取締役 四井恵介氏

ギャラリー北浜 Links さま

東北マニュファクチュール・ストーリー 多田知弥氏

大阪府立大学現代システム科学域

(環境社会学) 研究室 福永真弓氏

#### お問い合わせ

企画担当：船橋嵩史 (OPU for 3.11ネットワーク)

Mail: opufor3.11@gmail.com

# 東北

Mono×Photo Re:think

「現在から未来をみる」

- 内容：飯館村写真展×東北物産展
- 6月30日(日)～7月2日(火)  
12:00～20:00@北浜Links
- 別会場:7月3日(水)～7月4日(木)  
12:00～19:00@大阪府立大学
- **入場無料**





破壊された生活



外国の人々との交流

放射能汚染のため屠畜される乳牛。長男がロープを引っ張り次男が尻を押したがなかなかトラックに乗り込まなかった。

2011年6月2日

ヨーロッパ連合のグリーンズ(緑の党の連合体)とインリッヒ射団に夫婦で招かれ、ベルギーでの会議に参加した。私の隣は後藤政志元東芝原子炉設計者、佐藤栄佐久元福島県知事。

2012年3月7日



苦闘する除染活動



未来に向けて

除染モデル事業。剥ぎ取りだけでなくいろいろ試みられている。

2012年5月30日

仮設住宅前に満開となったチューリップと4歳になった孫娘。

2012年4月29日

反原発だ！今すぐ原発ゼロに！  
そんなことを伝えたいのではない。  
ただ知って欲しい。  
現実をしっかりと受け止めて欲しい。  
その上で明日を考えたい。

誰もいない。  
私たちの未来、子ども達の未来を  
創るのは私たち。

# Photo X Mono

一つ一つ愛情のこもった手仕事品。  
あなたの想いが東北に繋がる。

被災地に行くことも大切、  
だけどそれだけが支援じゃない。  
私たちに出来ることの一つ。  
想いと共に、是非あなたのお手元に。



DEERHORN DREAM CATCHER NECKLACE  
鹿の角のドリームキャッチャーネックレス

牡鹿半島ならではの素材である、鹿角と漁網で作られたアクセサリー。  
古来より水難・海難のお守りとして使われてきた鹿の角に復興への祈りを込めてつくりました。



mask

福島県の団体 peach heart が作成したマスク。「女子たちが可愛く自分自身のココロとカラダを大切にできる女性になるために…」  
—peach heart brandオリジナルマスクにはそんな想いが込められています。



ストール (黒西)

福島県の団体 IIE が作成した会津木綿の良さを生かした、シンプルなストール。